

教育相談室の窓

相談者に向き合える私で

相談員 渋井 正平

教育相談員になって、1年がたちました。「障害児教育に携わってきた先生が必要」と言われ参加したのですが、『教育相談などできるのかな』と心配でした。まだまだ不十分ですが、ベテラン相談員の皆さんにやさしく支えてもらいながら、今日まで来ることができました。

緊張の日々

主な仕事は、電話相談を受けることです。中には面談ということで、相談室まできていただいてお話を伺うこともあります。

内容については、障害に関することもあります。何といても多いのは、不登校・ひきこもりの問題です。あまりにも深く重い問題だけに、さらに不安になりました。わからない相談のときには、他の相談員に代わってもらい、後でその内容や回答を学びました。講演会にでかけて話を聞き、さらに本を読み、…と、今では認識も変わってきました。

昨年も、「いじめ」による子どもたちの自殺が、少なからず報道されました。『それまでしても学校へいかなければならなかったのか』と、心が痛みます。教師が、教育の成果を数値化され、縛られ、自由を失ってきています。その元で子どもたちも、いやでも競争に駆り立てられ、たくさんのストレスをためています。現在、登校拒否・

不登校者が約13万人、ひきこもり者70～100万人といわれています。誰がなっても不思議ではないし、今後その数が増えていくことは、間違いありません。

傷つきやすい子どもたち

相談の中に、「中学から、高校から、大学から、突然登校できなくなった。」という子どもたちがいます。「それまでほとんど手がかからず、成績も優秀で、学級や部活でもリーダーをやっていたのに…」ご両親は、『何で?』と不思議に思い、対応に苦慮されて相談にきます。今まで順調にきただけに、ちょっとした失敗やミスが、自己否定につながってしまうことがあるのです。また、『こうしたほうが親が喜ぶから』という基準で行動してきた子どもたちが、『本当の自分は』と自分探しに入ることもあります。どんな事例にせよ子育てには手がかかるものです。不登校や登校拒否は、子どもたちの『手をかけて』という叫びの一つの表現です。じっくり時間をかけて、家族で向き合って、新しくより深い家族関係を築き上げることが求められていると思います。

熱い熱気に包まれて

8月28日～29日、秩父で行われた「登校拒否・不登校問題 第15回全国のつど

い in 埼玉」にも初めて参加しました。教育相談員になるまでは、このような集会有ることも知りませんでした。この「つどい」の分科会には、レポートもなく、助言者もなし。結論も無理に出さない。とにかく〈参加者が、自由に心のうちを語りつくるようにしよう〉と言う方針と知り、大いに興味がわいてきました。

まずは、全国から500名を超える参加者の、不登校やひきこもりについて学ぼうとする熱気に圧倒されました。

全体会の後から次の日の午前中までは、第4分科会「障害ある(かもしれない)子どもの登校拒否・不登校」に出ました。

難病、発達障害、知的障害…など障害は様々で、同じ障害名がついても、また一人ひとりの特徴が違ってきます。この障害ならばこのように対応すればというような方式はありません。それぞれの親や子どもたちが、試行錯誤を重ね、様々な苦勞をし、自己嫌悪に陥ったりしながらも、感動の毎日を送っていることがたくさん語られました。議員さんも参加されていて、行政でできることは何かと悩んでいる姿も見られました。発達障害の医師の少ない現状、学校の統廃合から定時制高校の困難さが生まれてきていることなど、社会的な問題も多岐にわたって語られました。

自分を自由に

「登校拒否・不登校問題全国連絡会議」にも入会しました。各地域に「親の会」があり、その一つに昨年の12月から参加し学ばせていただいています。お母さん方が多数ですが、お父さん、大学の先生、夜間中学の先生、地域の議員さんなど様々な方

が参加されています。ほぼ月に1回の開催で、すでに100回を超えるということです。毎回数十名の参加があります。わが子の不登校やひきこもりの問題を抱えているにもかかわらず、皆さんとても明るいです。語り合い学習を重ねてきた仲間同士の信頼と、一人ひとりのたくましさも伝わってきます。「この会は、自分を自由に語れる」「いろいろな情報がもらえる」「元気になれる」「灯台のようだ」と、参加を楽しみにされています。課題図書の見直しや子どもたちの居場所(働く場)など、大きな問題も話題になっています。

確信をもって

教育相談 = 電話相談と思っていましたが、2ヶ月に1回の相談会議、各種学習会、全国集会の実行委員会、上記のような活動と実に多岐にわたりました。交友も広がり、子ども観や人生観にも影響する貴重な1年となりました。これで良かったと思える相談は、なかなかできませんが、さらに学び、確信を持って相談者に向き合えるようになったらと思います。

■相談は

さいたま教育文化研究所

「教育相談室」へ

■月・水・金 = 10時～16時

■相談は無料・プライバシー保護

■場所 埼玉県庁第1庁舎地階

■直通電話 048-825-2041

県庁から 048-824-2111

内線 7791・7792